

# 2008年12月1日～2017年9月30日の間に 当科においてピルフェニドン（ピレスパ®）の治療を受けられた方へ —「ピルフェニドン治療にもかかわらず進行した特発性肺線維症患者におけるピルフェニ ドン継続使用に関する後ろ向き検討」へご協力をお願い—

研究機関名 岡山大学病院

責任研究者 岡山大学病院 呼吸器・アレルギー内科 教授 木浦勝行

分担研究者

所属：

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 血液・腫瘍・呼吸器内科学

職名：准教授

氏名：金廣有彦

所属：岡山大学大学院保健学研究科 検査技術科学分野 生体情報科学領域

職名：保健学科教授

氏名：宮原信明

所属：岡山大学保健管理センター

職名：助教

氏名：谷口暁彦

所属：岡山大学病院 呼吸器・アレルギー内科

職名：大学院生

氏名：肥後寿夫

所属：岡山大学病院 呼吸器・アレルギー内科

職名：大学院生

氏名：小田尚廣

所属：岡山大学病院 呼吸器・アレルギー内科

職名：当直医

氏名：妹尾 賢

## 1. 研究の概要

### 1) 研究の背景および目的

ピルフェニドン（ピレスパ®）は特発性肺線維症に対して2008年にわが国でも承認された治療薬で、呼吸機能が低下する速度を抑える効果があることが証明されています。しかし病気の進行を完全に止められるわけではなく、多くの患者様で肺機能は徐々に低下していきます。肺機能が悪化した場合にいつまで内服を継続すべきかは、未だはっきりしていません。今回の研究では、これまでにピルフェニドンを投与された患者様を対象として、肺機能が悪化した後の経過を解析し、ピルフェニドンの継続投与の意義を明らかにすることを目的としています。

### 2) 予想される医学上の貢献及び研究の意義

本研究で肺機能悪化後のピルフェニドン治療継続の意義が明らかになれば、より適正なピルフェニドン使用につながると考えられます。

## 2. 研究の方法

### 1) 研究対象者

2008年12月1日～2017年9月30日の間に岡山大学病院および共同研究機関でピルフェニドンの治療を受けられ、且つ病状悪化のみられた方を対象とします。

### 2) 研究期間

倫理委員会承認後～2019年3月31日

### 3) 研究方法

上記「研究対象者」に該当する方の臨床情報をカルテから抽出し、肺機能悪化後の経過を明らかにします。その上で、肺機能の継続悪化のリスク因子を検討し、そのリスク因子としてピルフェニドンの中止が挙げられるかどうかを検討します。

### 4) 使用する情報

この研究に使用する情報として、カルテから以下の情報を抽出し使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報などが漏洩しないよう

プライバシーの保護には細心の注意を払います。

- ・ 年齢、性別、家族歴、既往歴
- ・ 診察所見、血液検査、尿検査、画像検査、呼吸機能検査、心電図検査、心臓超音波検査、その他必要な諸検査の情報です。

#### 5) 試料・情報の保存、二次利用

この研究に使用した情報は、研究の中止または研究終了後5年間、岡山大学病院 呼吸器・アレルギー内科内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、倫理委員会にて承認を得ます。

#### 6) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、2017年12月31日までの間に下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様が不利益が生じることはありません。

#### <問い合わせ・連絡先>

岡山大学病院 呼吸器・アレルギー内科 大学院生 肥後寿夫  
電話：086-235-7227 ファックス：086-232-8226

#### <研究組織>

研究代表機関名 岡山大学病院

研究代表責任者 岡山大学病院 呼吸器・アレルギー内科 教授 木浦勝行

共同研究機関 岡山呼吸器疾患研究会参加施設 31 施設

（国立病院機構南岡山医療センター、KKR 高松病院、愛媛県立中央病院、岡山市立市民病院、岡山赤十字病院、公立学校共済組合中国中央病院、倉敷市立児島市民病院、国立病院機構岡山医療センター、岡山ろうさい病院、岡山県健康づくり財団附属病院、国立病院機構岩国医療センター、国立病院機構福山医療センター、香川労災病院、尾道市立市民病院、矢掛町国民健康保険病院、山口赤十字病院、川崎医科大学附属川崎病院、笠岡市立市民病院、玉野三井病院、津山中央病院、姫路赤十字病院、呉共済病院、福山市民病院、府中市民病院、岡山済生会総合病院、神戸赤十字病院、水島第一病院、十全総合病院、玉野市立玉野市民病院、市立瀬戸内市民病院、金田病院）